

地域のチームワークを大切にした学校支援

大阪府寝屋川市

■ 活動名

第十中学校区地域教育協議会
(学校支援地域本部事業)

■ 関係する学校

寝屋川市立第十中学校・三井小学校・
宇谷小学校

活動区分	基本データ			
	学校支援 地域本部	コーディネーター数 4人	ボランティア登録数 70人	開始年度 20年度
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所			開始年度 放課後児童 クラブとの連携
コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他	※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)			

■ 活動の概要

- 中学校2名と小学校各1名ずつ、計4名のコーディネーターが常に協力し、学校と十分連携しながら、中学校区単位での学校支援を進めている。
- 中学校において、夏休み等に学習会を開催し、地域のボランティアが支援にあたっている。また、校内の掲示物を作成しているボランティアが、「総合的な学習の時間」の活動を支援している。
- 第十中学校の学校図書館を毎日開館できるよう支援にあたっている。
- ・コーディネーターを中心に、ボランティアが毎日昼休みの本の貸し出し業務や環境整備、おためし図書の呼びかけ等を行っている。また、貸出業務を通じて生徒との交流が図れている。
- ・小学校での読み聞かせの活動も行っている。
- 生け花や掲示物の作成、校舎周辺の花壇や植木の整備等、学びの環境づくりを支援している。
- 小学校区で、毎日通学路に見守り隊が立ち、子供への声かけや情報把握を行うとともに、「青パト」による校区巡回を毎日行っている。
- コーディネーターが中心となり、ボランティアやPTA役員、学校の管理職が集まって、活動の現状報告や活動の要望などの意見交換を行う「ボランティア交流会」を毎年開催している。

■ 特徴

【特徴的な活動内容】

- ・中学校の学校図書館で、コーディネーターとボランティアが本の貸し出しや整理等を支援し、毎日昼休みの開館が実現している。また、貸し出し業務を通じて地域人材と生徒との交流が図られ、生徒の居場所づくりにも貢献している。
- ・「校内に潤いを！季節などを感じたり楽しんでもらいたい」という願いから、月2回2時間程度集まり、それぞれの時期に合った校内掲示物を製作している。
- ・小学校区では、毎日通学路に見守り隊が立ち、子供への声かけや気になる子供の情報把握を行うとともに、パトロールカー（青パト）による校区の巡回も、ボランティアの2名体制により毎日実施している。
- ・PDCAサイクルを意識した、活動の実施後のふり返りと改善を大切にしており、ツールとしてアンケートや「ボランティア交流会」を実施・活用している。

【実施に当たっての工夫】

- ・管理職とコーディネーターの連絡会をもつなど、必要に応じて、学校がコーディネーターとの協議に加わることで、学校のニーズを的確に把握し、求められる支援の実施を図っている。
- ・学校のニーズをふまえてボランティア募集のプリントを作成し、自治会長を通じて校区内の全戸に配布している。
- ・教職員の理解を深めるため、教職員研修会でコーディネーターが地域教育協議会と学校支援地域本部の説明を行っている。
- ・毎年開催しているボランティア交流会がマンネリに陥らないよう、事前にアンケートを実施したり、府の研修を参考に内容を工夫するなど、年々改善を重ねるよう努めており、交流会で出された意見や提案は、次の活動にできるだけ生かすことを大切にしている。また、学校もそれらを踏まえて改善を図っている。

■ 事業を実施して

「交流会」でボランティア同士の交流、情報交換をすることで支援活動をよりスムーズに効果的に行うことができるようになった。また、教職員やPTA、児童生徒とボランティアが交流することで、活動に対する理解と協力を得られた。これらのことはボランティアの満足感と活動への意欲を喚起し、支援の効果を高めている。地域において顔と名前が一致する関係の中で活動はより良い教育コミュニティづくりの構築につながっている。

■ その他

3校合同研修会で教職員にボランティア活動の周知を行うことで、学校側からの求めに応じるといった関わりだけでなく、双方の関係作りの構築となり、活動の効果が高まっている。また、ボランティアとの交流は、心の教育として、児童生徒にとって大きな学びとなり、PTAとの連携は、多くの人に支えられて学校教育が行われているという保護者の認識となっており、学校に対する信頼感を生んでいる。



登下校時の安全見守り活動



図書読み聞かせサークル「ピーターラビットママの会」